

## 平成 22 年度 普及に移す農業技術（第 2 回）

[分類] 普及技術

[成果名] ズッキーニの着果促進にトマトトーン液剤が有効である

[要約] ズッキーニの着果促進にトマトトーン液剤 50 倍液を雌花の開花当日に 1 回、柱頭基部まで濡れるように散布する。

[担当] 野菜花き試験場野菜部

[部会] 野菜花き部会

### 1 背景・ねらい

ズッキーニでは受粉不良による不良果の発生が問題となっている。そこで、すでに農薬登録されているトマトトーン液剤について検討し、単年度の試験であるが 2 作期で試験し、いずれも安定した着果促進効果が確認できた。平成 22 年度野菜作反省検討会でも未受精による果形不良が課題提起されていたので、普及技術とした。

### 2 成果の内容・特徴

(1) ズッキーニの着果促進に、トマトトーン液剤 50 倍液を雌花の開花当日の開花後すみやかに 1 回、ハンドスプレー等で柱頭基部まで十分濡れるように散布する。

#### 農薬登録内容

トマトトーン液剤

[一般名および成分含有量] 4 - C P A 0.15%

[毒性] 人畜毒性：普通物 [魚毒性] A 類

[対象作物に対する適用登録状況（平成 23 年 1 月 24 日現在 JPP - N E T 確認）]

作物名	使用目的	使用時期	本剤の使用回数	希釈倍数	使用方法	4 - C P A を含む農薬の総使用回数
ズッキーニ	着果促進	開花当日	花に 1 回	50 倍	散布	1 花に 1 回

### 3 利用上の留意点

- (1) 使い残りの希釈液は、冷暗所で 4 週間程度保存できる。
- (2) トマトトーン処理によって、果実の尻部のほうがやや太くなる傾向がある。
- (3) 高濃度で処理すると、尻部の太りが大きくなるので、使用濃度を厳守する。
- (4) 気温が低い時期には、トマトトーン 50 倍液散布は、人工交配よりやや果実肥大が遅くなる傾向がある。
- (5) 降雨時の処理では効果が劣ることが考えられるが、2 度がけはしない。

### 4 対象範囲

県下全域

### 5 具体的データ

#### (1) 着果促進効果

トマトトーン 50 倍液散布によって、春まきおよび夏まき栽培とも不受精にともなう尻細果の発生はみられなかった(表 1)。

#### (2) 果実特性

トマトトーン 50 倍液散布によって、人工交配よりもやや尻部が肥大する傾向が見られたが、実用上は問題なかった(表 1)。

(3) 薬害

トマトトーン 50 倍液散布による薬害は見られなかった (表 2)。

表 1 ズッキーニにおけるトマトトーン処理と果実特性および着果促進効果  
(平成 22 年、野菜花き試験場)

作期	処理区	果重 g	果実長 cm	果実径 <sup>1)</sup> mm			果実長/果 実径 <sup>2)</sup>	不受精によ る尻細果数 率 %
				首部	尻部	尻部/首部		
春ま	無処理	183	16.5	43	33	0.77	4.42	73
き栽	トマトトーン	332	20.4	41	51	1.25	4.52	0
培	人工交配	343	21.6	42	51	1.22	4.74	0
夏ま	無処理	123	14.4	39	28	0.75	4.35	81
き栽	トマトトーン	188	17.9	35	41	1.17	4.67	0
培	人工交配	212	18.0	37	41	1.11	4.66	0

<sup>1)</sup>果実径：果実長を 3 等分する位置で、果梗よりの位置を首部、花落ちよりの位置を尻部として計測

<sup>2)</sup>果実長/果実径：果実径は首部と尻部の平均値

耕種概要：試験場所 場内パイプハウス(天井に UV カットフィルム、サイドに防虫ネット被覆)、供試品種「ラベン」、  
春まき栽培：収穫調査期間；6月9日～21日、1区当たり調査果実数：25～35果。4月21日播種、6月4日定植。  
うね幅 150cm、株間 90cm、黒ポリマルチ。施肥量(kg/a)エコロング 424 (100日、14-12-14)で窒素 0.8 相当。人工交  
配区以外は開花前日に袋かけ実施。散布にはハイドロプレーを用い、開花当日の午前 9 時頃までに柱頭基部まで十分  
濡れるように、1回散布した。そのほかの管理は慣行に準じた。

夏まき栽培：収穫調査期間：10月12日～11月4日、1区当たり調査果実数：20～30果。8月20日播種、9月13日  
定植。そのほかの管理は春まき栽培に準じた。

表 2 ズッキーニにおけるトマトトーン処理と果実肥大特性及び薬害の有無  
(平成 22 年、野菜花き試験場)

作期	処理区	収穫まで所要日数 日	果実肥大速度 <sup>1)</sup> g/日	薬害
	無処理	5.7	35	
春まき栽培	トマトトーン	3.7	84	無
	人工交配	3.8	88	
	無処理	9.3	13	
夏まき栽培	トマトトーン	5.5	34	無
	人工交配	4.4	48	

<sup>1)</sup>果実肥大速度：果重/開花後収穫まで所要日数

6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

野菜・花き及び畑作物の新規農薬等の効果試験、平成 22 年度 (2010 年度)、民間受託